

令和7年4月～6月期

文京区 中小企業の景況

目 次

今期の特徴点.....	1
製造業.....	2
小売業.....	7
サービス業.....	12
卸売業.....	15
不動産業.....	18
数字からみた全都との比較.....	21
業種別中小企業景況調査転記表.....	26
特別調査「5年後(2030年)以降を見据えた中長期的な経営について」.....	36

文 京 区 区 民 部 経 済 課

調査実施機関 社団法人 東京都信用金庫協会

分析機関 特定非営利活動法人 文京区中小企業経営協会

文京区今期の特徴点

令和7年 4月～6月
調査時期 7年6月中旬
調査方法 面接聴取

製造業の業況はやや厳しさが増えています。小売業の業況はわずかに持ち直しています。サービス業の業況は好感度が弱まっています。卸売業の業況は大きく好調に転じ、不動産業の業況は大きく好調感が後退しています。

【製造業】

前期		-8.6	製造業の業況はやや厳しさが増えています。DI 値は、文京区では 4.2 ポイント減の-12.8、全都では 1 ポイント減の-11 です。文京区の各項目をみると、売上額は 3.0 ポイント減の-17.6 とわずかに減少幅が拡大し、収益は 12.7 ポイント減の-23.6 と大きく低迷しています。来期の業況は悪化幅が縮小すると予測されます。売上額は大幅に改善し、収益は大きく減少幅が縮小する見込みです。
今期		-12.8	
来期		-5.8	

【小売業】

前期		-4.7	小売業の業況はわずかに持ち直しています。DI 値は、文京区では 3.2 ポイント増の-1.5、全都では 1 ポイント減の-15 です。文京区の各項目をみると、売上額は 2.9 ポイント増の 16.9 とわずかに増加幅が拡大し、収益は 6.6 ポイント増の 13.3 と好調さを強めています。来期の業況は今期同様で変化がない見込みです。売上額は今期同様の増加が続き、収益は増加傾向が後退する見込みです。
今期		-1.5	
来期		-1.7	

【サービス業】

前期		19.0	サービス業の業況は好感度が弱まっています。DI 値は、文京区では 5.1 ポイント減の 13.9、全都では 1 ポイント減の-4 です。文京区の各項目をみると、売上額は 5.6 ポイント減の 24.0、収益は 5.6 ポイント減の 14.3 と増加幅が縮小しています。来期の業況は好調感が弱まると予測されます。売上額は今期同様の増加が続き、収益はやや増加幅が縮小する見込みです。
今期		13.9	
来期		5.9	

【卸売業】

前期		-16.5
今期		2.1
来期		-2.8

【不動産業】

前期		24.9
今期		5.1
来期		7.8

スポット君 景気予報							
	好調	←	普通	→	不調		
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
卸売業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以上
不動産業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下

有効回答事業所数

製造業	52
小売業	19
サービス業	28
卸売業	21
不動産業	13

製造業

業況

製造業の業況はやや厳しさが増している。DI 値は、文京区では 4.2 ポイント減の-12.8、全都では 1 ポイント減の-11 である。文京区の各項目をみると、売上額は 3.0 ポイント減の-17.6 とわずかに減少幅が拡大し、受注残は 8.5 ポイント減の-22.1 と減少を強めている。収益は 12.7 ポイント減の-23.6 と大きく低迷している。来期の業況は 7.0 ポイント増の-5.8 と悪化幅が縮小すると予測される。売上額は 18.2 ポイント増の 0.6 と大幅に改善し、受注残は 20.5 ポイント増の-1.6 と非常に大きく持ち直し、収益は 19.2 ポイント増の-4.4 と大きく減少幅が縮小する見込みである。

価格・在庫動向

販売価格は 0.3 ポイント増の 11.9 と前期同様の上昇で、原材料価格は 8.7 ポイント減の 34.9 と上昇が弱まっている。原材料在庫数量は 5.1 ポイント増の 10.0 と過剰感が強まっている。来期の販売価格は 3.8 ポイント減の 8.1 とわずかに上昇幅が縮小し、原材料価格は 1.9 ポイント減の 33.0 と今期同様の水準が続くと予測される。原材料在庫数量は 0.2 ポイント減の 9.8 と今期同様の過剰感が続く見込みである。

資金繰り・借入金動向

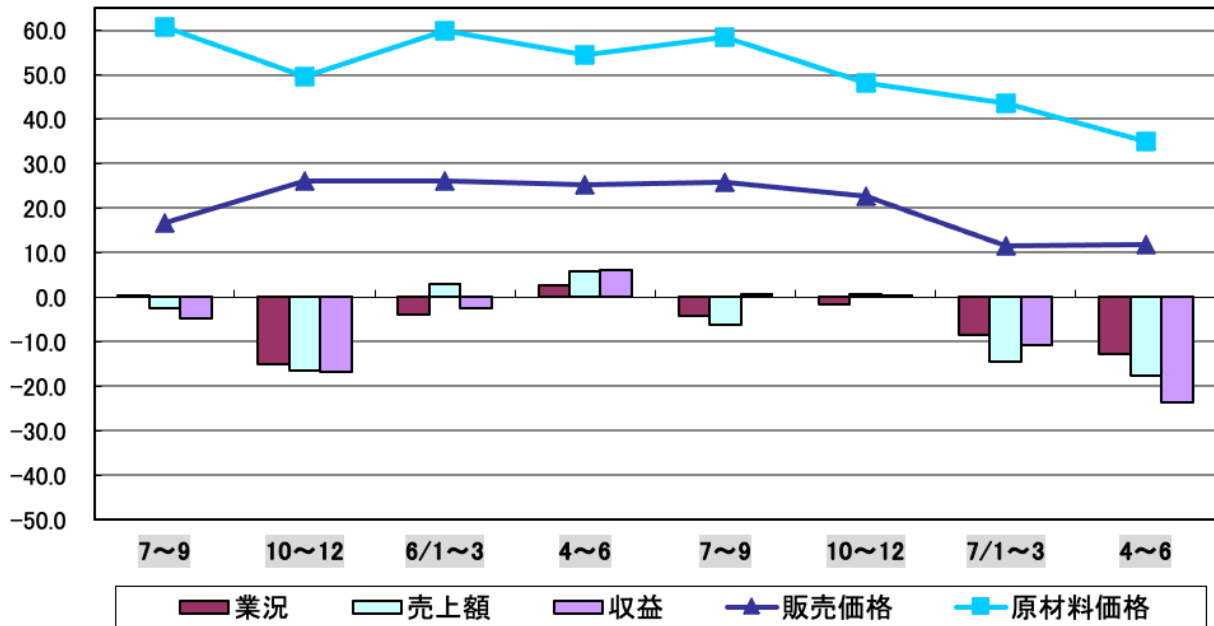
借入難易度は 0.3 ポイント減の-8.4 と今期同様の厳しさが続き、資金繰りは 6.1 ポイント増の-3.0 と厳しさが和らいでいる。「借入をした／借入の予定あり」と回答した企業の割合は 2.4 ポイント減の 19.2%とわずかに減少している。来期の資金繰りは 1.8 ポイント減の-4.8 とわずかに厳しさが増すと予測される。来期に「借入をした／借入の予定あり」と回答する企業の割合は 3.9 ポイント増の 23.1%とわずかに増加する見込みである。

経営上の問題点・重点経営施策

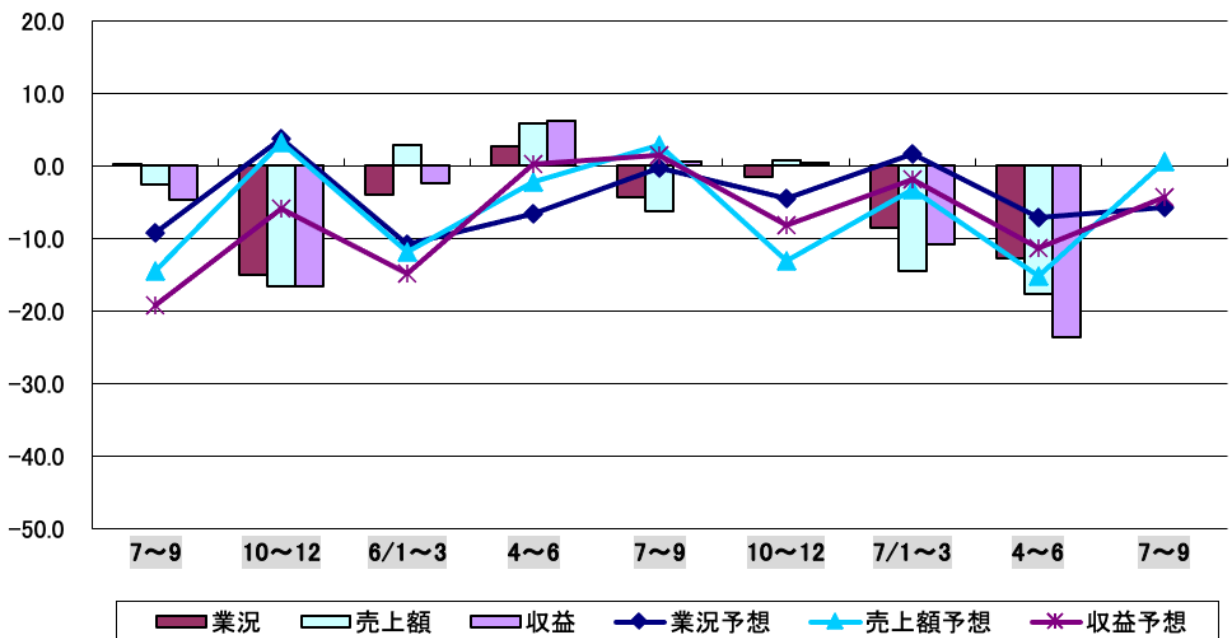
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が 42.3%で 1 位、「原材料高」が 40.4%で 2 位、「人件費の増加」が 21.2%で 3 位となっている。「売上の停滞・減少」及び「原材料高」は 2 年間、継続して 1 位ないし 2 位を占め、常時高い値となっている。

重点経営施策は、「販路を広げる」が 50.0%で 1 位、「人材を確保する」が 30.8%で 2 位、「経費を節減する」が 28.8%で 3 位となっている。「販路を広げる」は 2 年間継続して 1 位を占め、常時高い値となっている。

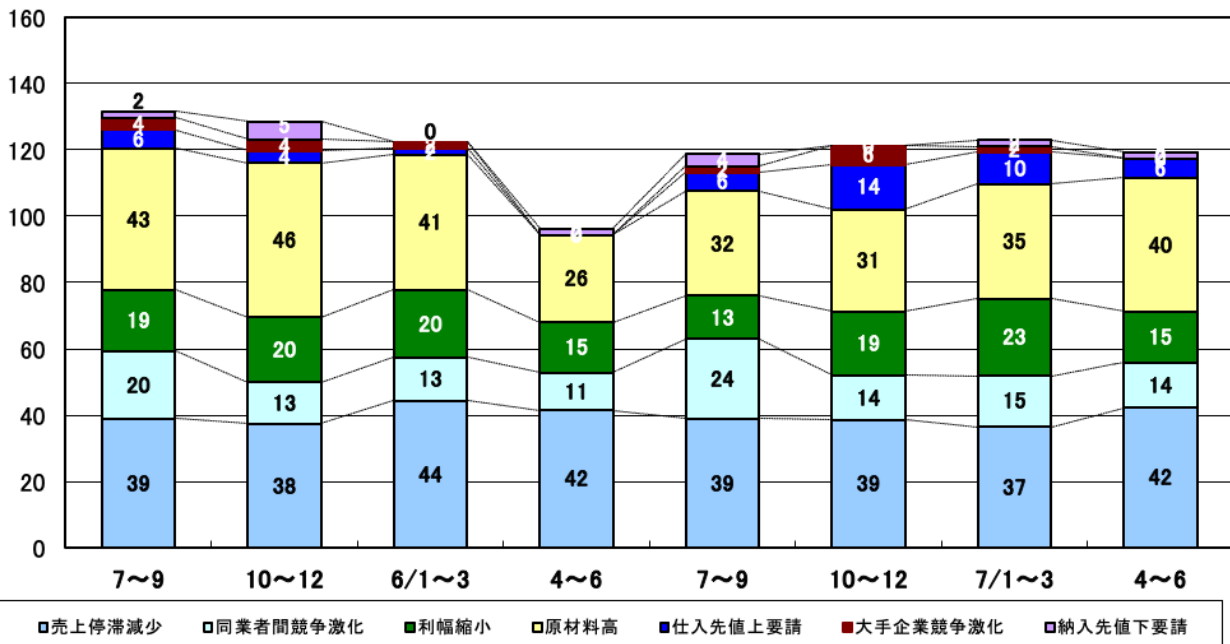
文京区製造業 景況の推移(季調済)
(増加企業割合－減少企業割合)



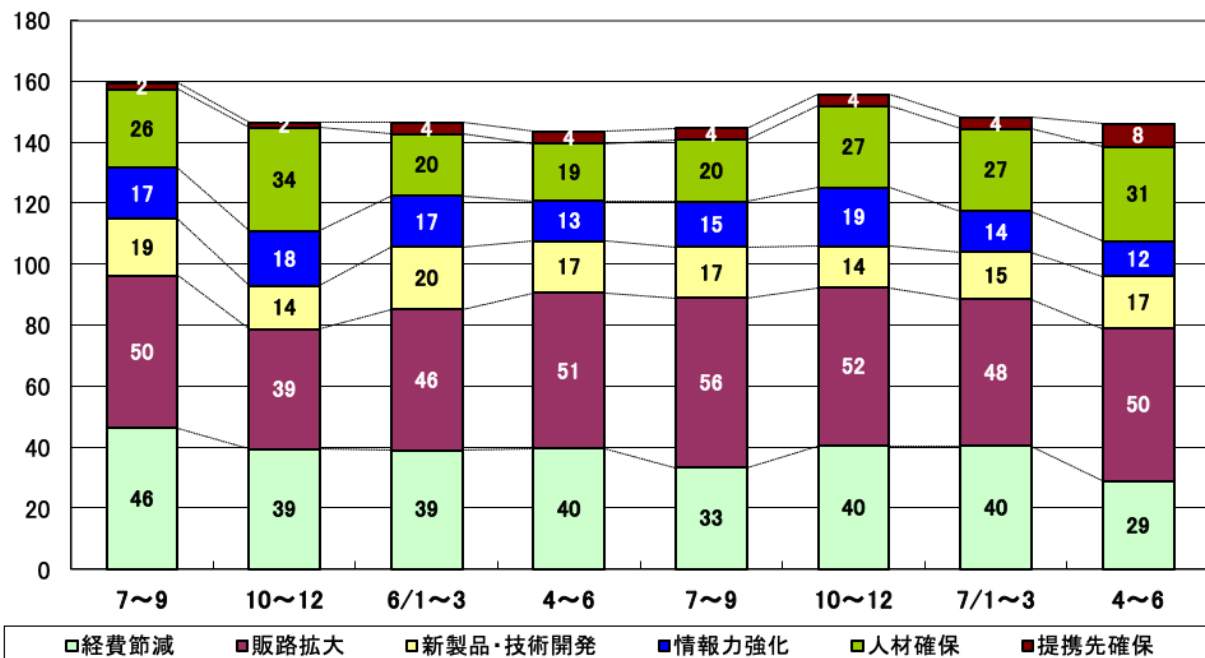
文京区製造業 売上額・収益の予想と実績の推移(季調済)
(増加企業割合－減少企業割合)



文京区製造業
経営上の問題点(%)



文京区製造業
重点経営施策(%)



業種別動向

(1) 精密機械器具

業況等についてはデータなし。(今期の有効回答事業所数は前期と同じく1) 全都のDI値は10ポイント減の-8となっている。

経営上の問題点は、「工場・機械の狭小・老朽化」「為替レートの変動」がともに100.0%で1位となっている。令和6年10月～12月期を除き、令和6年4～6月期以降同じ内容となっている。

重点経営施策は、「新製品・技術を開発する」「人材を確保する」がともに100.0%で1位となっている。「新製品・技術を開発する」「人材を確保する」は、令和6年10月～12月期を除き2年間継続して1位となっている。

(2)ー1 出版・製本業

出版・製本業の業況は悪化幅が拡大している。DI値は、文京区では8.4ポイント減の-45.9、全都では1ポイント増の-26である。文京区の各項目を見ると、売上額は6.7ポイント増の-46.1と減少が一服し、受注残は9.1ポイント減の-32.4と減少幅が拡大し、収益は2.2ポイント減の-42.6とわずかに減少を強めている。

販売価格は0.3ポイント減の22.8と前期並みの上昇が続き、原材料価格は20.1ポイント減の39.8と非常に大きく上昇幅が縮小している。原材料在庫数量は7.3ポイント減の16.3と過剰感が弱まっている。借入難易度は-33.3と前期同様の厳しさが続き、資金繰りは3.1ポイント増の-29.5とわずかに窮屈感が弱まっている。

来期の業況は2.7ポイント減の-48.6とわずかに悪化が強まると予測される。売上額は3.5ポイント減の-49.6とわずかに悪化幅が拡大し、受注残は10.5ポイント増の-21.9と大きく減少幅が縮小する見込みであり、収益は4.4ポイント増の-38.2とわずかに持ち直す見込みである。来期の販売価格は6.0ポイント減の16.8、原材料価格も6.0ポイント減の33.8と、ともに上昇が弱まると予測される。原材料在庫数量は2.9ポイント増の19.2とわずかに過剰感が強まり、資金繰りは4.9ポイント減の-34.4とやや窮屈感が強まる見込みである。

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」「原材料高」がともに45.5%で1位、「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」「仕入先からの値上げ要請」「生産能力の不足」「その他」がいずれも18.2%で3位となっている。「売上の停滞・減少」は2年間、継続して1位であり、常時高い値となっている。

重点経営施策は、「販路を広げる」「経費を節減する」がともに45.5%で1位、「情報力を強化する」「新製品・技術を開発する」がともに36.4%で3位、「提携先を見つける」「人材を確保する」が18.2%で5位となっている。「不採算部門を整理・縮小する」が1年ぶりに姿を現している。

(2)－2 印刷・製版業

印刷・製版業の業況は悪化傾向が強まっている。DI 値は、文京区では 8.4 ポイント減の-13.3、全都では 8 ポイント減の-21 である。文京区の各項目を見ると、売上額は 21.7 ポイント減の-24.6、受注残は 26.7 ポイント減の-39.8、収益は 36.6 ポイント減の-40.1 といずれも非常に大きく減少幅が拡大している。

販売価格は 6.5 ポイント減の 5.3 と上昇幅が縮小し、原材料価格は 14.4 ポイント減の 27.2 と大幅に上昇が弱まっている。原材料在庫数量は 7.9 ポイント増の 10.7 と過剰感が強まっている。借入難易度は 7.1 ポイント減の 6.2 と容易さが弱まり、資金繰りは 0.1 ポイント増の 4.8 と前期同様の容易な状況である。

来期の業況は 17.5 ポイント増の 4.2 と大きく好調に転じると見込まれる。売上額は 31.4 ポイント増の 6.8、受注残は 44.9 ポイント増の 5.1、収益は 41.4 ポイント増の 1.3 といずれも非常に大きく増加傾向に転じる見込みである。来期の販売価格は 9.8 ポイント減の-4.5 と下降に転じ、原材料価格は 0.5 ポイント増の 27.7 と今期並みの上昇が続くと予測される。原材料在庫数量は 5.3 ポイント減の 5.4 と過剰感が改善し、資金繰りは 4.5 ポイント減の 0.3 と容易さが弱まる見込みである。

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」「原材料高」がともに 47.1%で 1 位、「人件費の増加」が 41.2%で 3 位、「人手不足」「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」がいずれも 17.6%で 4 位となっている。前期に姿を消した「合理化の不足」が、今期再び回答に挙がっている。

重点経営施策は、「販路を広げる」が 52.9%で 1 位、「人材を確保する」が 41.2%で 2 位、「機械化を推進する」が 23.5%で 3 位となっている。「不動産の有効活用を図る」はこの 2 年間で初めて回答に挙がった。一方で、2 年間継続して回答に挙がっていた「教育訓練を強化する」が今期姿を消した。

小 売 業

業 況

小売業の業況はわずかに持ち直している。DI 値は、文京区では 3.2 ポイント増の -1.5、全都では 1 ポイント減の -15 である。文京区の各項目をみると、売上額は 2.9 ポイント増の 16.9 とわずかに増加幅が拡大し、収益は 6.6 ポイント増の 13.3 と好調さを強めている。来期の業況は 0.2 ポイント減の -1.7 と今期同様で変化がない見込みである。売上額は 0.5 ポイント増の 17.4 と今期同様の増加が続き、収益は 9.2 ポイント減の 4.1 と増加傾向が後退する見込みである。

価格・在庫動向

販売価格は 3.2 ポイント減の 38.0 とわずかに増加幅が縮小し、仕入価格は 1.0 ポイント減の 42.7 と前期並みの上昇が続いている。在庫数量は 1.1 ポイント増の 8.0 と今期同様の過剰感が続いている。来期の販売価格は 7.8 ポイント減の 30.2 と上昇幅が縮小し、仕入価格は 3.2 ポイント減の 39.5 とわずかに上昇が弱まると予測される。在庫数量は 0.1 ポイント減の 7.9 と今期並みの過剰感が続く見込みである。

資金繰り・借入金動向

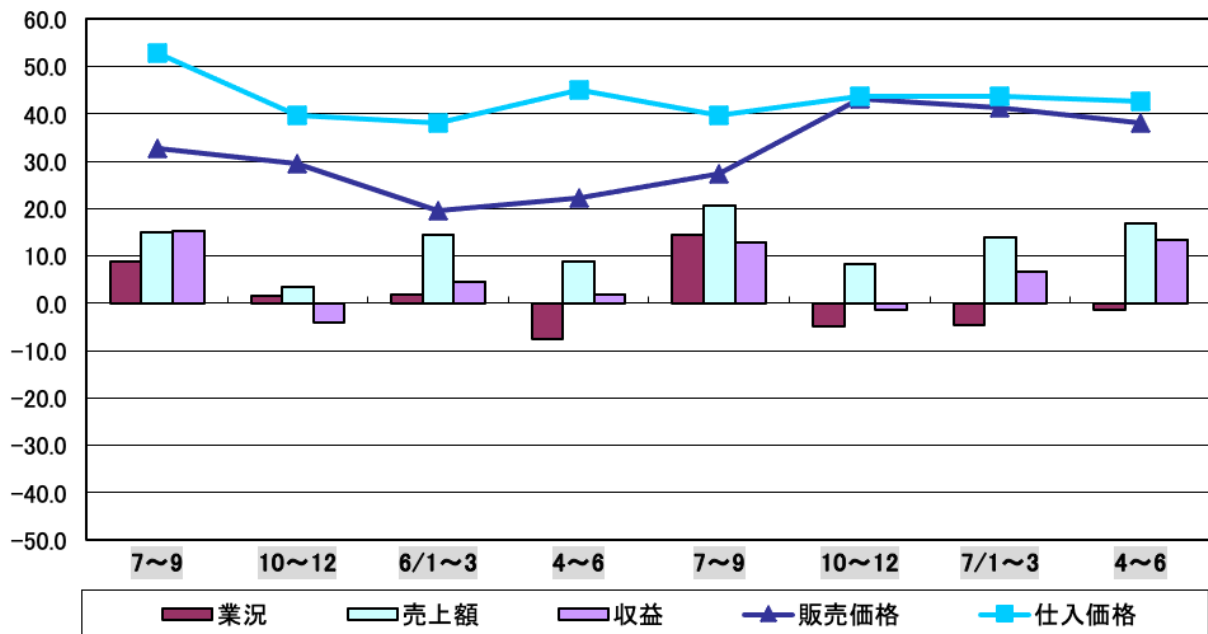
借入難易度は 0.0 と前期同様変わらず、資金繰りは 4.5 ポイント減の 5.0 とわずかに容易さが弱まっている。「借入をした／借入の予定あり」と回答した企業の割合は 0.3 ポイント増の 5.3% である。来期の資金繰りは 2.0 ポイント増の 7.0 とやや容易さが増すと予測される。来期に「借入をした／借入の予定あり」と回答する企業の割合は 5.3 ポイント減の 0.0% となる見込みである。

経営上の問題点・重点経営施策

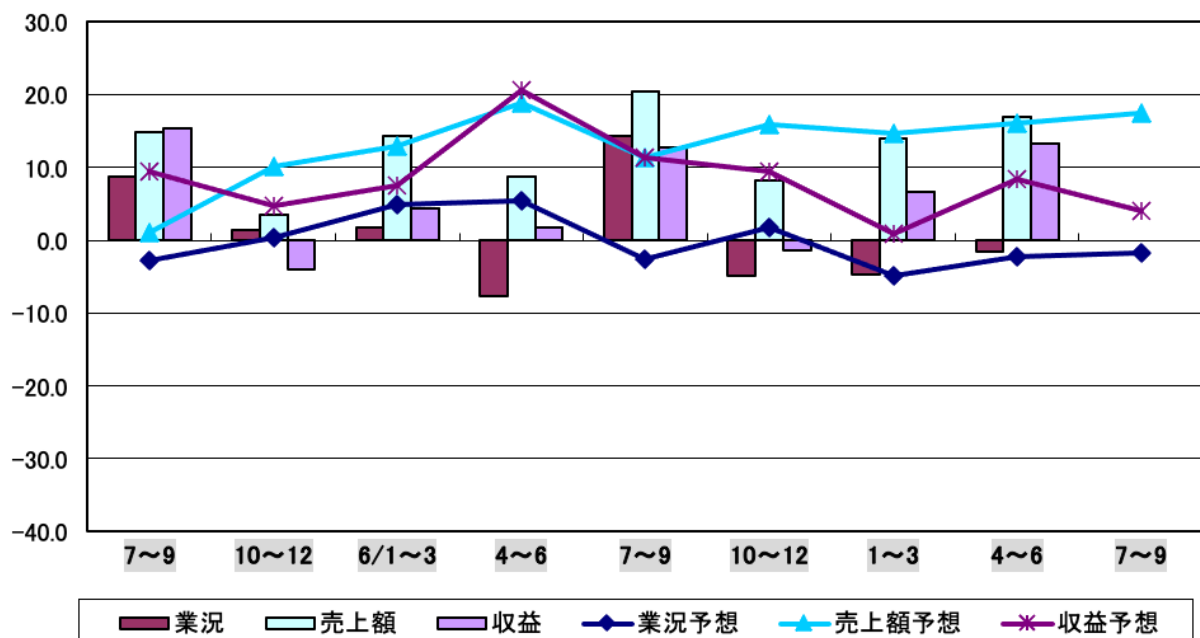
経営上の問題点は、「利幅の縮小」が 36.8% で 1 位、「売上の停滞・減少」が 31.6% で 2 位、「仕入先からの値上げ要請」が 26.3% で 3 位となっている。「販売商品の不足」と「代金回収の悪化」が、この 2 年間で初めて回答に挙がっている。

重点経営施策は、「経費を節減する」が 47.4% で 1 位、「品揃えを改善する」「宣伝・広告を強化する」がともに 31.6% で 2 位、「売れ筋商品を取り扱う」が 21.1% で 4 位となっている。「経費を節減する」は 2 年間継続して 1 位であり、常時高い値となっている。

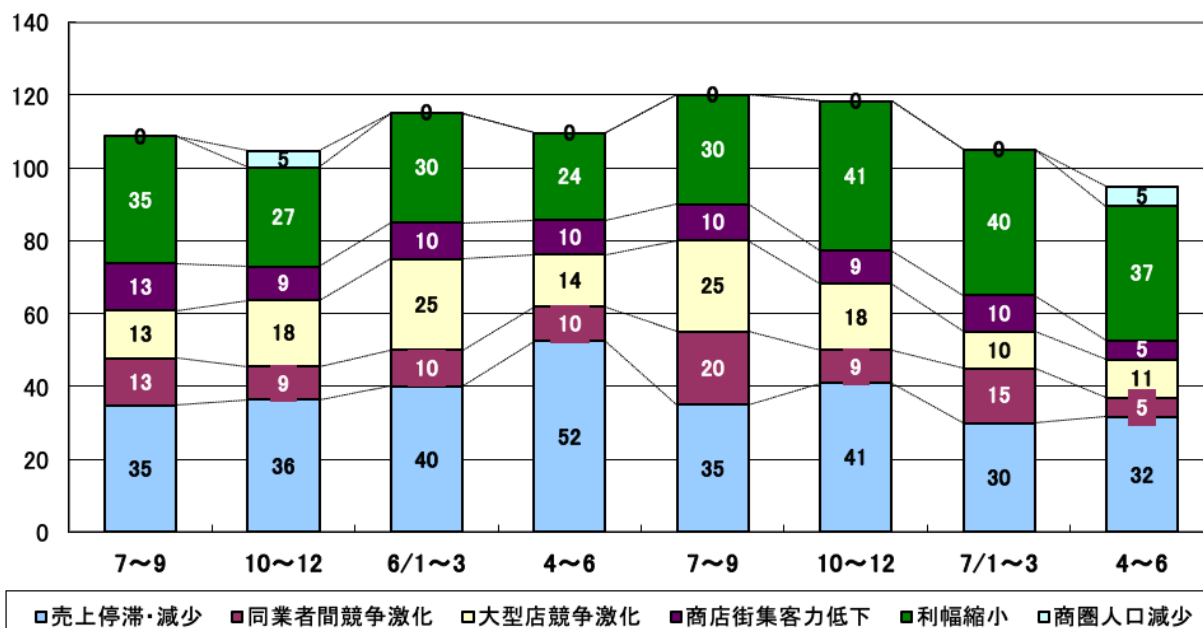
文京区小売業 業況の推移(季調済)
(増加企業割合－減少企業割合)



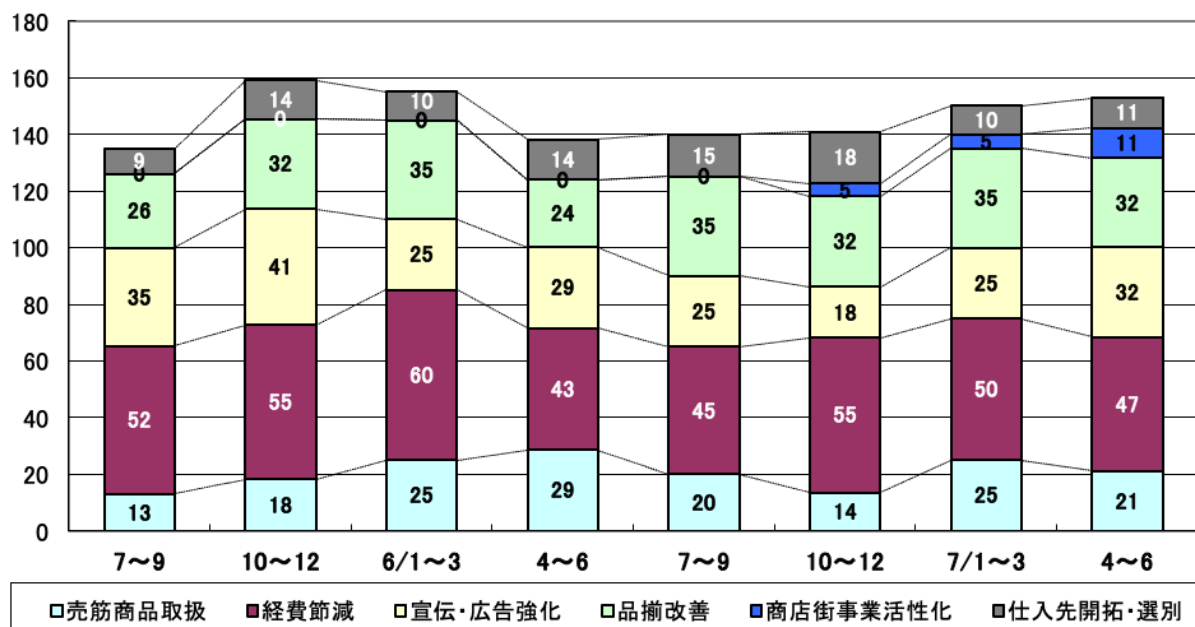
文京区小売業 売上額・収益の予想と実績の推移(季調済)
(増加企業割合－減少企業割合)



文京区小売業
経営上の問題点(%)



文京区小売業
重点経営施策(%)



業種別動向

(1) 衣服・呉服・身の回り品

衣服・呉服・身の回り品の業況は悪化幅が拡大している。DI 値は、文京区では 5.6 ポイント減の -28.6、全都では 2 ポイント減の -26 である。文京区の各項目を見ると、売上額は 14.8 ポイント増の -4.9 と大きく持ち直し、収益は 30.7 ポイント増の 7.9 と非常に大きく増勢に転じている。

販売価格は 5.6 ポイント増の 27.7 と上昇傾向を強め、仕入価格は 12.7 ポイント増の 46.3 と大きく上昇幅が拡大している。在庫数量は 33.9 ポイント増の 39.7 と非常に大きく過剰感が強まっている。借入難易度は 0.0 と前期並みの容易さであり、資金繰りは 30.0 ポイント減の 3.8 と極端に容易さが弱まっている。

来期の業況は 5.1 ポイント増の -23.5 と悪化幅が縮小すると予測される。売上額は 21.5 ポイント減の -26.4 と非常に大きく減少を強め、収益は 49.5 ポイント減の -41.6 と極端に増加から減少に転じると見込まれている。来期の販売価格は 20.3 ポイント減の 7.4、仕入価格は 21.7 ポイント減の 24.6 と、ともに非常に大きく上昇幅が縮小すると予測される。在庫数量は 1.8 ポイント減の 37.9 と今期同様の過剰感が続き、資金繰りは 3.8 と今期同様の水準と見込まれている。

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が 75.0% で 1 位、「利幅の縮小」「販売商品の不足」「仕入先からの値上げ要請」「商店街の集客力の低下」「天候の不順」がいずれも 25.0% で 2 位となっている。「販売商品の不足」「仕入先からの値上げ要請」はこの 2 年間で初めて回答に挙がっている。

重点経営施策は、「経費を節減する」「売れ筋商品を取り扱う」がともに 50.0% で 1 位、「品揃えを改善する」「仕入先を開拓・選別する」「商店街事業を活性化させる」がいずれも 25.0% で 3 位となっている。「商店街事業を活性化させる」はこの 2 年間で初めて回答に挙がっている。

(2) 飲食料品

飲食料品の業況は極端に好調に転じている。DI 値は、文京区では 26.7 ポイント増の 22.6、全都では 2 ポイント増の -13 である。文京区の各項目を見ると、売上額は 4.1 ポイント増の 21.6 とやや増加幅が拡大し、収益は 5.9 ポイント増の 26.1 と好調さを強めている。

販売価格は 18.3 ポイント増の 57.3 とかなり上昇傾向を強め、仕入価格は 21.5 ポイント増の 60.3 と非常に大きく上昇幅が拡大している。在庫数量は 2.9 ポイント減の -2.1 とわずかに過剰から品薄へと転じている。借入難易度は 0.0 と前期から変化なく、資金繰りは 3.4 ポイント増の 0.0 とわずかに改善している。

来期の業況は 2.9 ポイント減の 19.7 とやや悪化すると見込まれている。売上額は 3.4 ポイント増の 25.0 とわずかに増加傾向を強め、収益は 29.6 ポイント減の -3.5 と非常に大きく減少し、水面下に落ち込むと見込まれている。来期の販売価格は 23.3 ポイント減の 34.0 と極端に上昇幅が縮小し、仕入価格は 1.7 ポイント増の 62.0 と今期並みの上昇が続くと予測される。在庫数量は 2.1 ポイント増の 0.0 と適正水準に保たれ、資金繰りは 0.0 と今期同様の状況が続く見込みである。

経営上の問題点は、「利幅の縮小」が 66.7%で 1 位、「売上の停滞・減少」「大型店との競争の激化」「仕入先からの値上げ要請」が 33.3%で 2 位となっている。2 年継続して回答に挙がっていた「商店街の集客力の低下」が、今期姿を消している。

重点経営施策は、「品揃えを改善する」「売れ筋商品を取り扱う」がともに 66.7%で 1 位、「経費を節減する」「商店街事業を活性化させる」がともに 33.3%で 3 位となっている。2 年継続して回答に挙がっていた「仕入先を開拓・選別する」が、今期姿を消している。

(3) 家電・家庭用機械

家電・家庭用機械の業況は良好感が強まっている。DI 値は、文京区では 8.7 ポイント増の 9.6、全都で 2 ポイント減の -14 である。文京区の各項目を見ると、売上額は 31.5 ポイント増の 27.6 と非常に大きく増勢に転じ、収益は 20.3 ポイント増の 24.4 と非常に好調さを強めている。

販売価格は 17.9 ポイント増の 41.4、仕入価格は 16.9 ポイント増の 38.6 と、ともに大きく上昇傾向を強めている。在庫数量は 4.1 ポイント減の -3.6 と過剰から品薄へと転じている。借入難易度は 0.0 ポイントと前期同様の状況であり、資金繰りは 1.2 ポイント増の 0.3 と横ばいである。

来期の業況は 15.8 ポイント減の -6.2 と大きく悪化に転じると予測される。売上額は 26.3 ポイント減の 1.3 と非常に大きく増加幅が縮小し、収益は 30.6 ポイント減の -6.2 と極端に水面下へ落ち込む見込みである。来期の販売価格は 15.9 ポイント減の 25.5、仕入価格は 19.7 ポイント減の 18.9 と、ともに大きく上昇幅が縮小すると予測される。在庫数量は今期と同じく -3.6 と今期並みの不足感が続き、資金繰りも 0.3 と今期同様の見込みである。

経営上の問題点は、「大型店との競争激化」「販売納入先からの値下げ要請」「取引先の減少」「商圈人口の減少」「代金回収の悪化」がいずれも 25.0%で 1 位となっている。「大型店との競争激化」は 2 年間、継続して 1 位または 2 位を占め、常時高い値となっている。2 年継続して回答に挙がっていた「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」が今期姿を消した一方、「取引先の減少」「代金回収の悪化」はこの 2 年で初めて回答に挙がった。

重点経営施策は、「宣伝・広告を強化する」が 50.0%で 1 位、「品揃えを改善する」「経費を節減する」「人材を確保する」がいずれも 25.0%で 2 位となっている。1 年半継続して回答に挙がっていた「売れ筋商品を取り扱う」は今期姿を消した。

サービス業

業況

サービス業の業況は好感度が弱まっている。DI 値は、文京区では 5.1 ポイント減の 13.9、全都では 1 ポイント減の -4 である。文京区の各項目をみると、売上額は 5.6 ポイント減の 24.0、収益は 5.6 ポイント減の 14.3 と増加幅が縮小している。来期の業況は 8.0 ポイント減の 5.9 と好調感が弱まると予測される。売上額は 1.8 ポイント減の 22.2 と今期同様の増加が続き、収益は 4.8 ポイント減の 9.5 とやや増加幅が縮小する見込みである。

価格動向

料金価格は 14.0 ポイント増の 31.1 と上昇傾向を強め、材料価格は 3.8 ポイント増の 39.1 とわずかに上昇が強まっている。来期の料金価格は 5.8 ポイント減の 25.3 と上昇が弱まり、材料価格は 1.7 ポイント減の 37.4 と今期並みの上昇が続く見込みである。

資金繰り・借入金動向

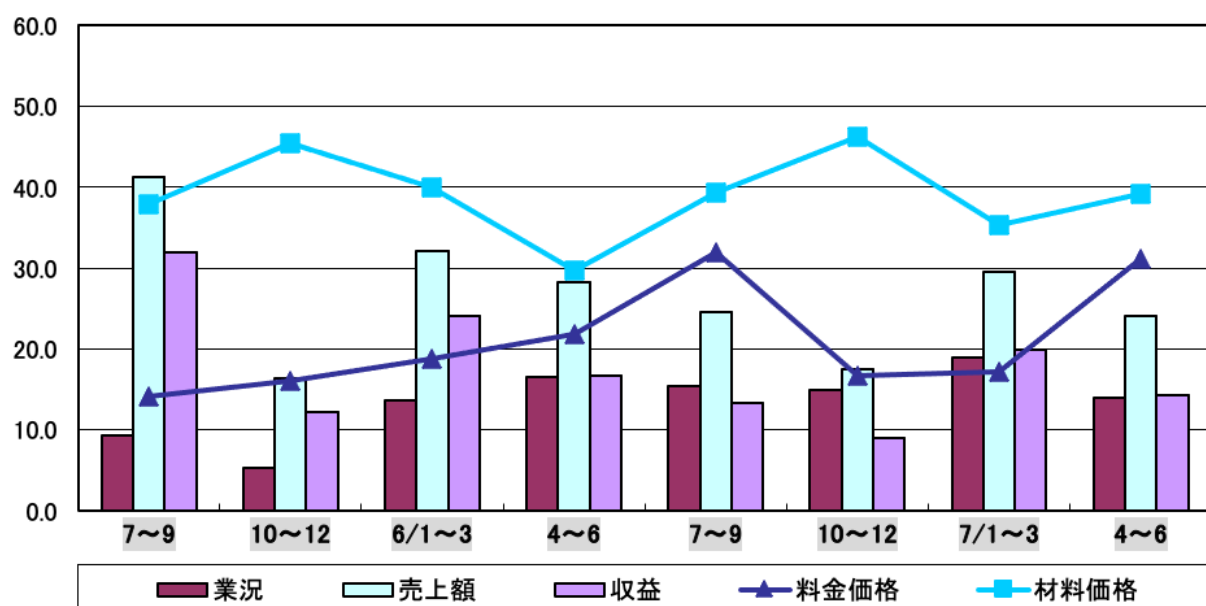
借入難易度は 9.1 ポイント減の 4.0 と容易さが弱まり、資金繰りは 4.1 ポイント増の 12.9 とわずかに容易さが増している。「借入をした／借入の予定あり」と回答した企業の割合は 6.4 ポイント減の 14.3% である。来期の資金繰りは、4.8 ポイント減の 8.1 とやや容易さが弱まると予測される。来期に「借入をした／借入の予定あり」と回答する企業の割合は 7.1 ポイント増の 21.4% の見込みである。

経営上の問題点・重点経営施策

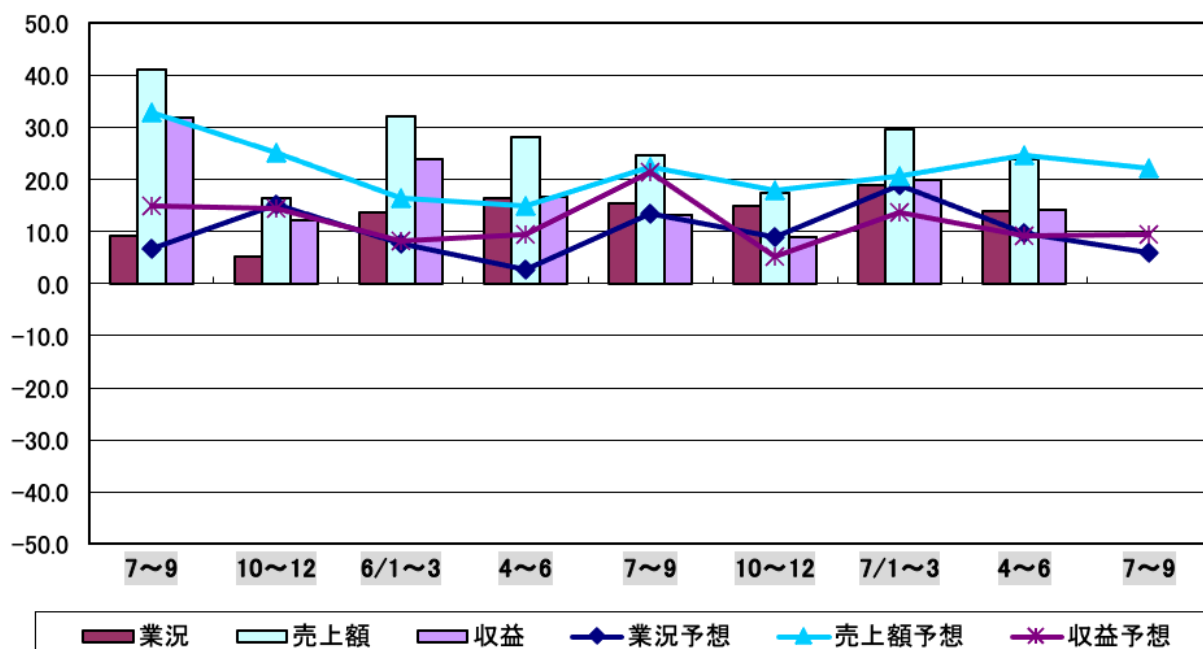
経営上の問題点は、「人件費の増加」が 39.3% で 1 位、「人手不足」「材料価格の上昇」がともに 35.7% で 2 位、「同業者間の競争の激化」が 21.4% で 4 位となっている。「人手不足」は 2 年間、継続して 1 位または 2 位を占め、常時高い値となっている。また「合理化の不足」が 1 年半ぶりに姿を現した。

重点経営施策は、「販路を広げる」が 35.7% で 1 位、「経費を節減する」「人材を確保する」がともに 32.1% で 2 位、「技術力を強化する」が 25.0% で 4 位となっている。前期に姿を消した「パート化を図る」は今期再び回答に挙がっている。

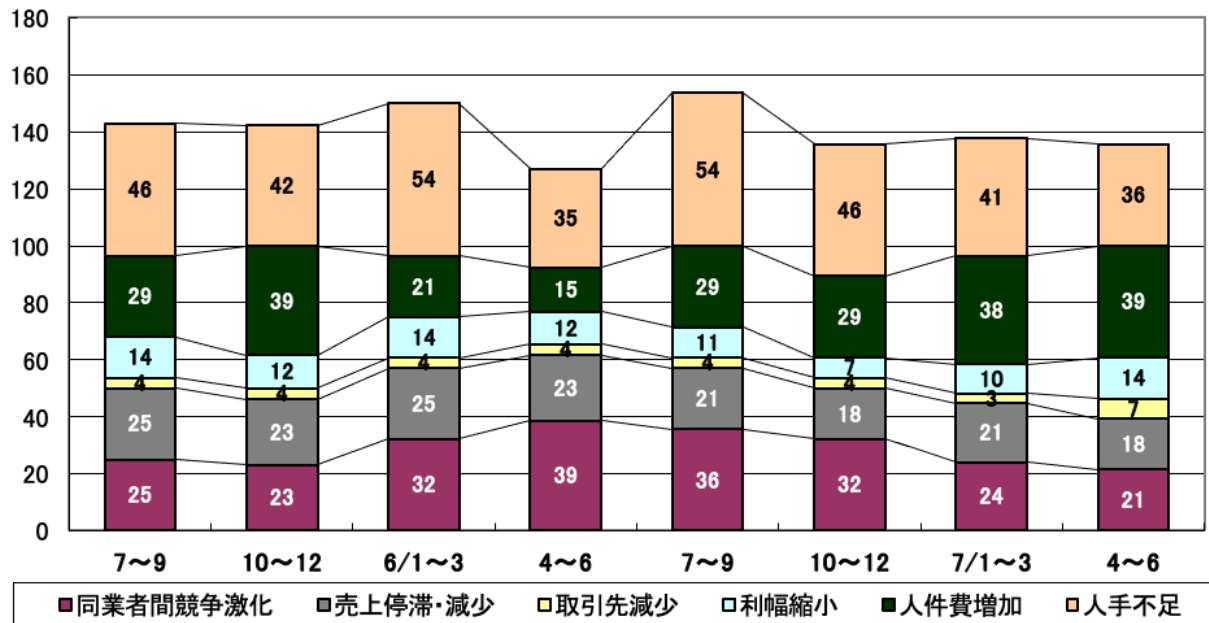
文京区サービス業 景況の推移(季調済)
(増加企業割合－減少企業割合)



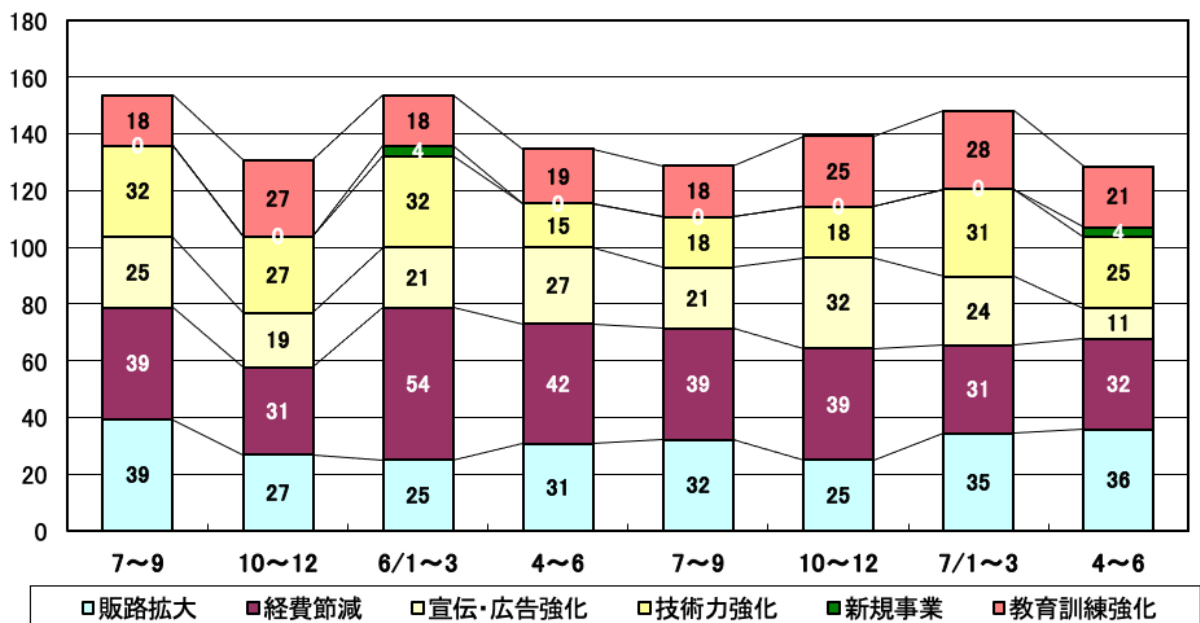
文京区サービス業 売上額・収益の予想と実績の推移(季調済)
(増加企業割合－減少企業割合)



文京区サービス業
経営上の問題点(%)



文京区サービス業
重点経営施策(%)



卸売業

業 況

卸売業の業況は大きく好調に転じている。DI 値は、文京区では 18.6 ポイント増の 2.1、全都では 1 ポイント減の -7 である。文京区の各項目をみると、売上額は 21.9 ポイント増の 16.1 と非常に大きく増加に転じ、収益は 16.8 ポイント増の 4.7 と大きく増勢に転じている。来期の業況は 4.9 ポイント減の -2.8 とわずかに水面下に落ち込むと予測される。売上額は 13.8 ポイント増の 29.9 と大きく増加傾向を強め、収益は 6.0 ポイント増の 10.7 と好調さを強めると見込まれている。

価格・在庫動向

販売価格は 7.2 ポイント増の 33.8 と上昇傾向を強め、仕入価格は 5.2 ポイント減の 33.3 と上昇が弱まっている。在庫数量は 4.9 ポイント増の 18.6 とやや在庫が積み増されている。来期の販売価格は 5.5 ポイント減の 28.3 と上昇幅が縮小、仕入価格は 3.6 ポイント増の 36.9 とわずかに上昇が強まり、在庫数量は 13.3 ポイント減の 5.3 と大きく過剰感が改善する見込みである。

資金繰り・借入金動向

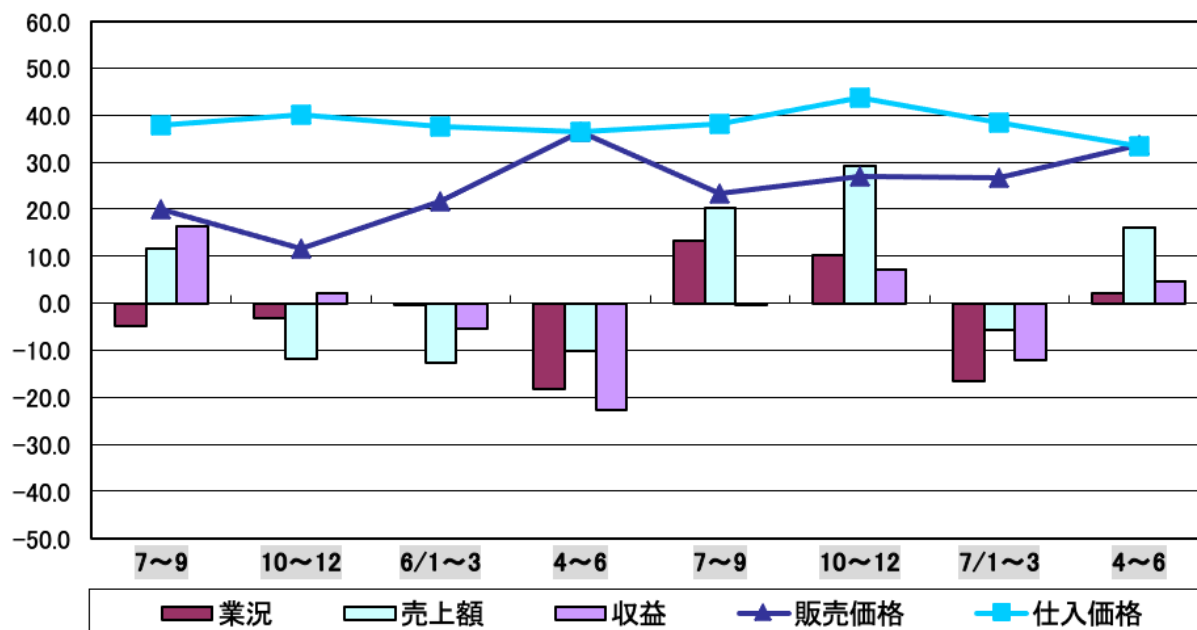
借入難易度は 30.3 ポイント増の 5.3 と極端に容易になり、資金繰りは 8.8 ポイント増の 5.2 と窮屈感を脱している。「借入をした／借入の予定あり」と回答した企業の割合は 14.3 ポイント増の 42.9% である。来期の資金繰りは、9.7 ポイント増の 14.9 と容易さが増すと予測される。来期に「借入をした／借入の予定あり」と回答する企業の割合は 17.9 ポイント減の 25.0% の見込みである。

経営上の問題点・重点経営施策

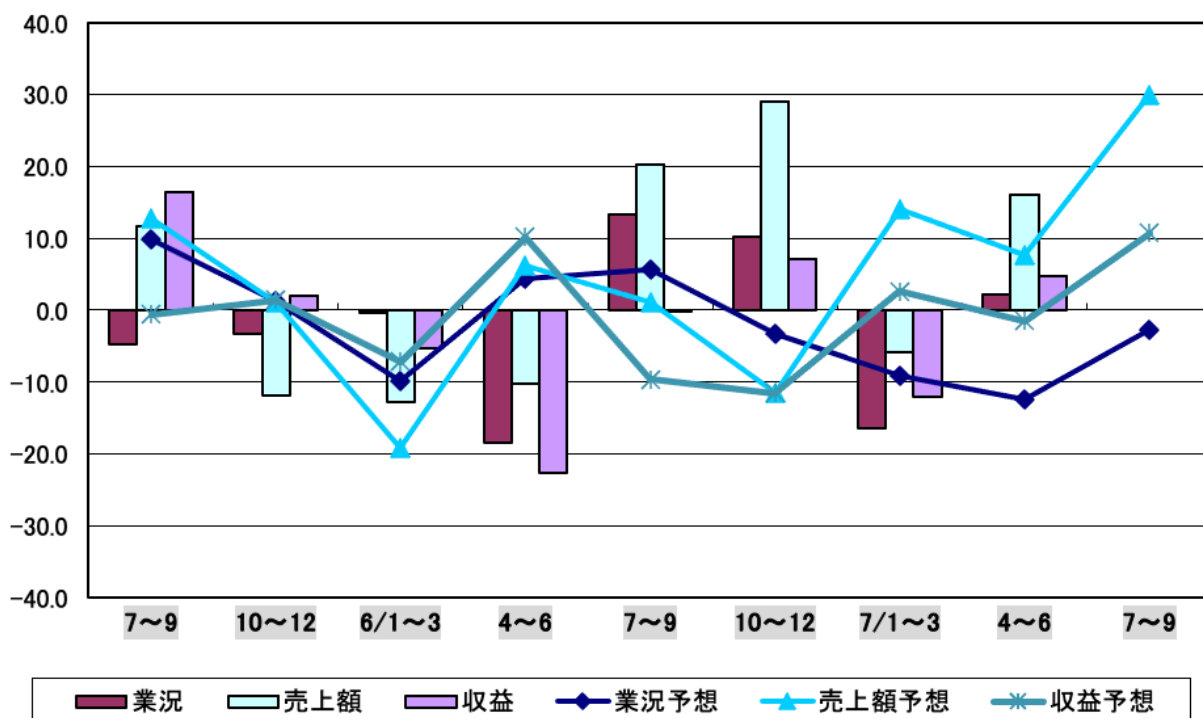
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」「人手不足」がともに 33.3% で 1 位、「同業者間の競争の激化」「仕入先からの値上げ要請」がともに 23.8% で 3 位、「人件費の増加」「為替レートの変動」がともに 19.0% で 5 位となっている。前期に姿を消した「販売商品の不足」と、令和 5 年 10～12 月期に姿を消した「店舗の狭小・老朽化」が、ともに今期再び回答に挙がっている。

重点経営施策は、「販路を広げる」「人材を確保する」がともに 42.9% で 1 位、「経費を節減する」が 38.1% で 3 位、「情報力を強化する」が 28.6% で 4 位となっている。「販路を広げる」は 2 年間継続して、1 位ないし 2 位を占め、常時高い値となっている。

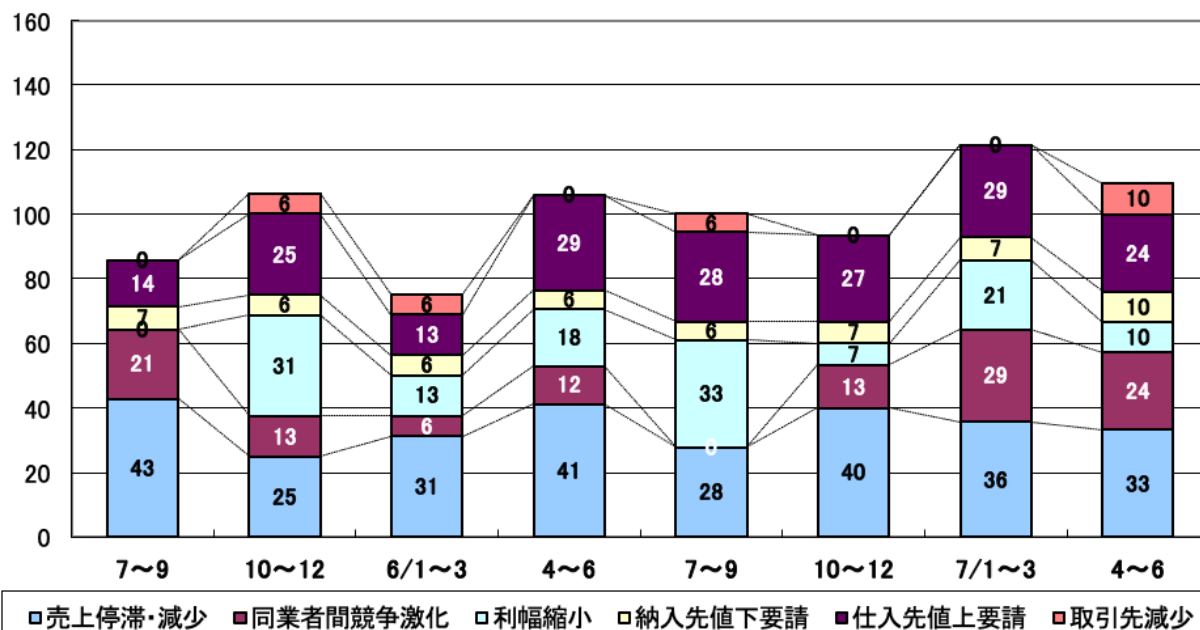
文京区卸売業 業況の推移(季調済)
(増加企業割合－減少企業割合)



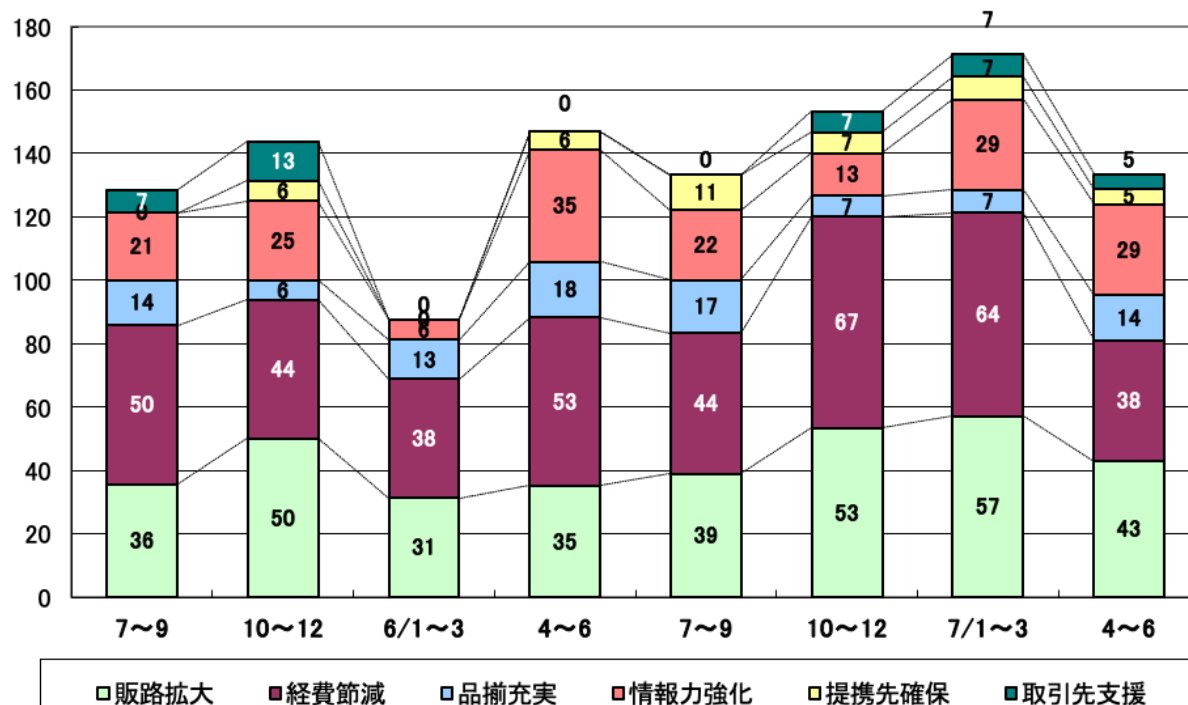
文京区卸売業 売上額・収益の予想と実績の推移(季調済)
(増加企業割合－減少企業割合)



文京区卸売業
経営上の問題点(%)



文京区卸売業
重点経営施策(%)



不動産業

業況

不動産業の業況は大きく好調感が後退している。DI 値は、文京区では 19.8 ポイント減の 5.1、全都では前期と同じく 8 である。文京区の各項目をみると、売上額は 44.1 ポイント減の -17.5、収益は 27.4 ポイント減の -12.2 と、ともに極端に水面下に落ち込んでいる。来期の業況は 2.7 ポイント増の 7.8 とわずかに上向く見込みである。売上額は 29.9 ポイント増の 12.4、収益は 31.0 ポイント増の 18.8 と、ともに非常に大きく増加に転じると見込まれている。

価格・在庫動向

販売価格は 0.5 ポイント減の 40.7、仕入価格は 0.5 ポイント減の 41.1 と、ともに前期並みの上昇が続いている。在庫数量は 22.2 ポイント減の -13.6 と大きく品薄に転じている。来期の販売価格は 1.0 ポイント増の 41.7、仕入価格は 0.9 ポイント減の 40.2 と、ともに今期同様の上昇が続くと予測されている。在庫数量は 0.8 ポイント増の -12.8 と今期並みの不足感が続く見込みである。

資金繰り・借入金動向

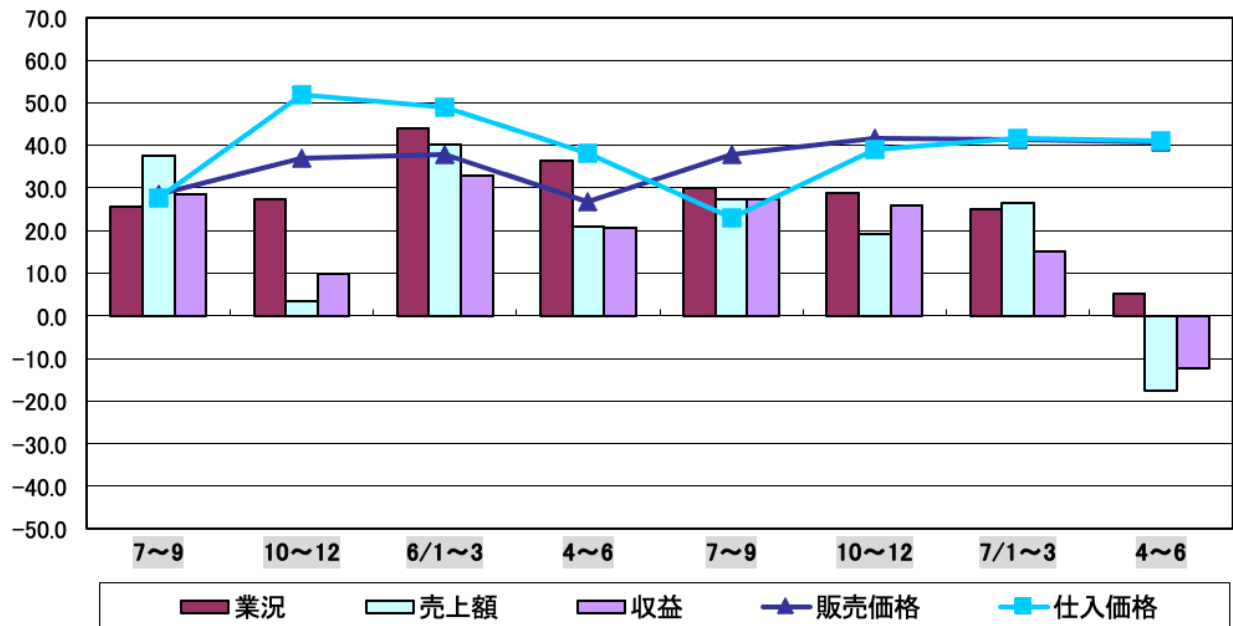
借入難易度は前期同様に 0.0 となっている。資金繰りは 5.0 ポイント減の 11.0 と容易さが弱まっている。「借入をした／借入の予定あり」と回答した企業の割合は 8.4 ポイント増の 41.7% である。来期の資金繰りは 2.2 ポイント増の 13.2 とわずかに容易さが増すと予測され、「借入をした／借入の予定あり」と回答する企業の割合は、8.3 ポイント増の 50.0% の見込みである。

経営上の問題点・重点経営施策

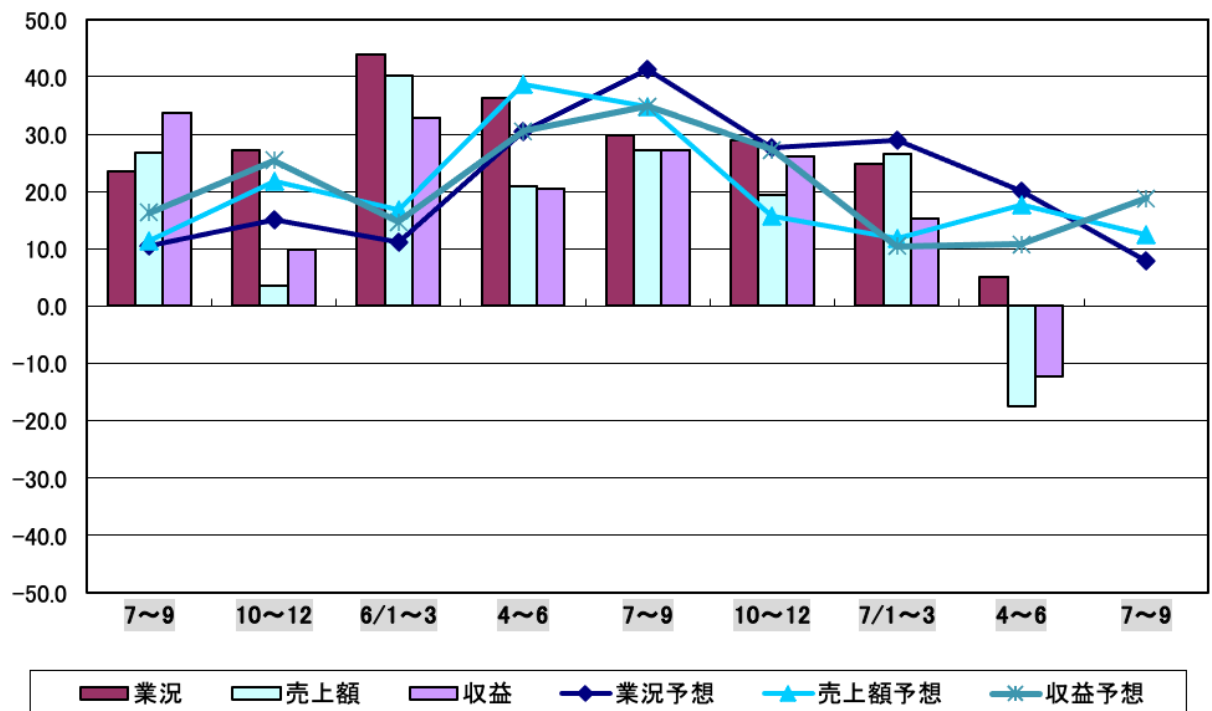
経営上の問題点は、「商品物件の不足」が 46.2% で 1 位、「商品物件の高騰」が 23.1% で 2 位、「大手企業との競争の激化」が 15.4% で 3 位となっている。「商品物件の不足」は 2 年間継続して 1 位ないしは 2 位のいずれかであり、常時高い値となっている。前期に姿を消した「人手不足」が今期回答に挙がっている。

重点経営施策は、「情報力を強化する」が 46.2% で 1 位、「販路を広げる」「宣伝・広告を強化する」「人材を確保する」がいずれも 23.1% で 2 位、「提携先を見つける」「教育訓練を強化する」がともに 7.7% で 5 位となっている。前期に姿を消した「経費を節減する」は、今期も回答に挙がっていない。

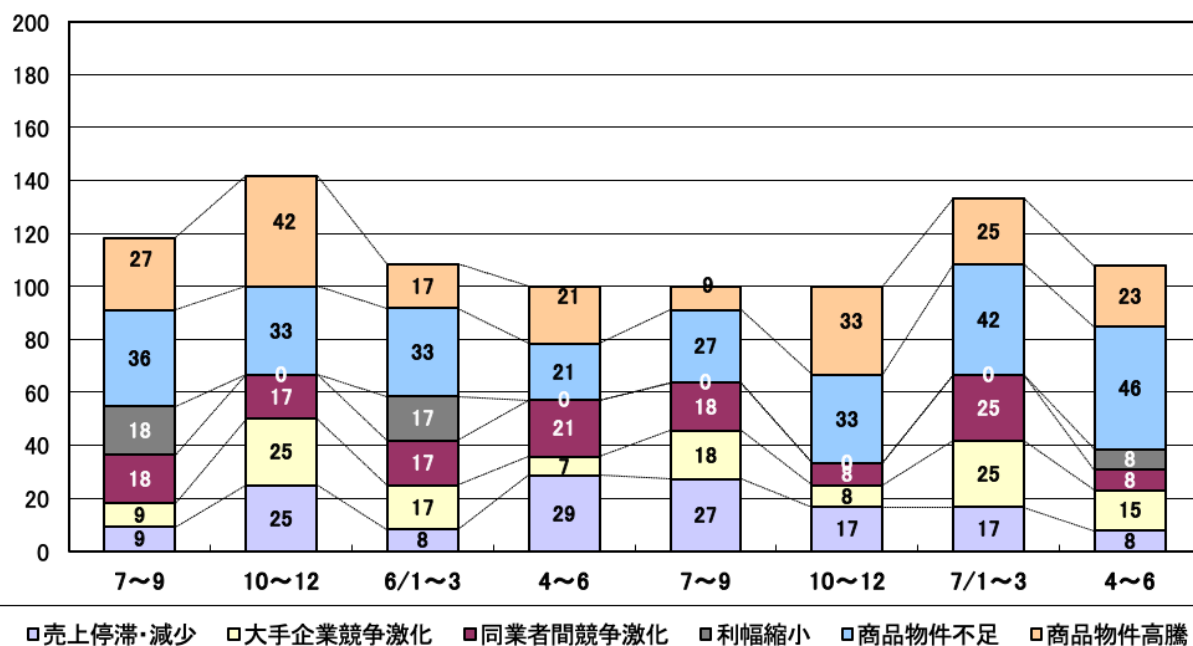
文京区不動産業 業況の推移(季調済)
(増加企業割合－減少企業割合)



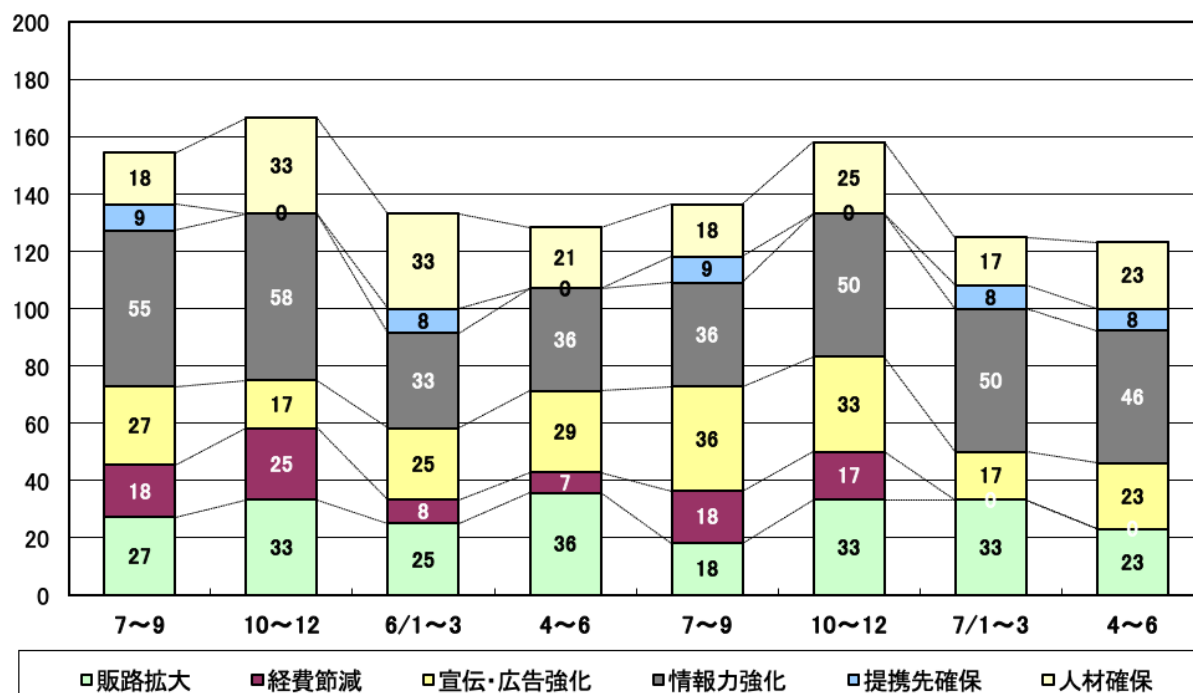
文京区不動産業 売上額・収益の予想と実績の推移(季調済)
(増加企業割合－減少企業割合)



文京区不動産業
経営上の問題点(%)



文京区不動産業
重点経営施策(%)



[今期の景況]

[来期の景況見通し]

- * 季節変動調整済 DI 値を表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り
- * 単純 DI 値を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度
- * 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小売業

[今期の景況]

[来期の景況見通し]

- * 季節変動調整済 DI 値を表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り
- * 単純 DI 値を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度
- * 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

サービス業

[今期の景況]

※ 季節変動調整済 DI 値を表示している項目。業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

※ 単純 DI 値を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

※ 企業割合 (%) を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

[来期の景況見通し]

- * 季節変動調整済 DI 値を表示している項目。業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り
- * 単純 DI 値を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度
- * 企業割合 (%) を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

卸売業

[今期の景況]

※ 詳細な説明を記入してください。

[来期の景況見通し]

※ 詳細な説明を記入してください。

- * 季節変動調整済 DI 値を表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り
- * 単純 DI 値を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度
- * 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

不動産業

[今期の景況]

[来期の景況見通し]

- * 季節変動調整済 DI 値を表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り
- * 単純 DI 値を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度
- * 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

中分類：業種合計

令和7年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

中分類：業種合計

令和7年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

p

中分類：業種合計

令和7年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

地域名：文京区
中分類：業種合計

令和7年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

中分類：業種合計

中小企業景況調査 転記表 No. 1

令和7年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

サービス業
地域名：文京区
中分類：業種合計

中小企業景況調査 転記表 No. 2

令和7年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

地域名：文京区
中分類：業種合計

中小企業景況調査 転記表 No. 1

令和7年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

中分類：業種合計

令和7年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

中分類：業種合計

令和7年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

中分類：業種合計

令和7年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

特別調査

「5年後(2030年)以降を見据えた中長期的な経営について」

本調査結果の特徴

- ① **最低賃金引上の対応**について、雇用や労働時間の削減に関し、全業種では「行わない見通し」が44.5%と最も高く、「わからない」が37.2%、「行いう見通し」は16.8%と最も低かった。業種別では、建設業にて「行わない見通し」が80.0%と突出して高く、「行いう見通し」は0.0%であった。一方で、卸売業にて「行いう見通し」が23.8%と他業種より高くなっている。
対応策に関し、全業種では「特に対応は行わない(23.4%)」が最も高く、次いで「販売価格を引き上げる(21.2%)」、「経費(人件費以外)を引き下げる(20.4%)」の順となっている。業種別では、小売業にて最も高い「経費(人件費以外)を引き下げる(31.6%)」は、他業種と比べても高くなっている。不動産業では「特に対応しない(46.2%)」が最も高く、次いで「販売価格引き上げ(30.8%)」が高く、ともに他業種と比べても高くなっている。
- ② **社会保険負担増加への不安感と経営への影響**について、不安感に関し、全業種では半数以上の事業者が「不安を感じている(50.4%)」と回答し、「どちらでもない(42.3%)」を上回っている。業種別では、建設業は「不安を感じている」が60.0%と最も高い。一方で、小売業では「どちらでもない」が57.9%、不動産業では「不安を感じていない」が23.1%と他業種より高くなっている。
経営面への影響に関し、全業種では、「賃金引上げの妨げになる(32.8%)」が最も高く、次いで「社会保険料納付の時間や手間が増える(23.4%)」、「特に影響はない(17.5%)」の順となっている。業種別では、「賃金引上げの妨げになる」が建設業と卸売業で最も高くなっている。不動産業では「賃金引上げの妨げになる」「特に影響はない」がともに38.5%と高くなっている。
- ③ **人口減少・高齢化への対応**について、生産面に関し、全業種では「現時点では考えていない(45.3%)」が最も高く、次いで「定年延長など高齢者の活躍推進(18.2%)」、「人材教育の強化(15.3%)」の順となっている。業種別では、小売業にて「現時点では考えていない」が68.4%と最も高くなっている。建設業にて最も高い「定年延長など高齢者の活躍推進(40.0%)」は他業種と比べても高く、「現時点では考えていない」は20.0%と他業種より低くなっている。
販売面に関し、全業種では「現時点では考えていない(46.7%)」が最も高く、次いで「現在の市場で今の商品の販売を強化(27.7%)」、「新しい商品・サービスの開発(13.9%)」の順となっている。業種別では、建設業の対応意欲は全体的に他業種より高くなっている。不動産業にて最も高い「現時点では考えていない(53.8%)」は他業種と比べても高く、「現在の市場で今の商品の販売を強化(38.5%)」は建設業に次いで高くなっている他、「新しい商品・サービスの開発」は0.0%となっている。
- ④ **5年後の2030年を見据えた事業承継**について、2030年までの経営者変更を予定している事業者に関し、全業種では「親族に承継(11.8%)」が最も高く、次いで「親族以外の役員、従業員に承継(5.1%)」、「承継先を選定中(4.4%)」の順となっている。業種別では、建設業にて「親族に承継」が40.0%と高くなっている他、卸売業にて最も高い「親族以外の役員、従業員に承継(14.3%)」は、他業種よりも高くなっている。
2030年までの経営者変更を予定していない事業者に関し、全業種では「事業承継については全くの未定(27.2%)」が最も高く、次いで「検討の必要性は感じているが未着手(19.1%)」、「経営者が若く検討不要(18.4%)」の順となっている。業種別では、不動産業にて最も高い「事業承継については全くの未定(61.5%)」は他業種と比べても突出して高く、小売業においても42.1%と高い。サービス業と製造業では「検討の必要性は感じているが未着手」がそれぞれ25.9%と23.5%と他業種より高くなっている。
- ⑤ **SDGsの取組み状況**について、全業種では「上記の取組みはしていない(33.6%)」が最も高く、次いで「節電、再生可能エネルギーの使用(32.1%)」、「ペーパーレス化、緑化・植林(21.2%)」の順となっている。業種別では、「上記の取組みはしていない」との回答が建設業にて60.0%と最も高く、製造業でも43.1%と高くなっている。一方、サービス業では17.9%と他業種と比べて最も低くなっている。卸売業にて最も高い「節電、再生可能エネルギーの使用(47.6%)」と次に高い「研修の充実、働き方改革の実施(33.3%)」は、ともに他業種より高くなっている。サービス業でも「節電、再生可能エネルギーの使用(42.9%)」が高くなっている他、「女性や高齢者、外国人等の人材雇用(32.1%)」が他業種より高くなっている。

(特別調査データ)

【問１】 最低賃金について、現行の１，０５５円（全国加重平均）が仮に１，５００円となった場合、貴社では雇用や労働時間の削減を行う見通しですか。１から３の中から１つ選んでお答えください。また、貴社における雇用や労働時間以外に考えられる対応策について、４から０の中から最も当てはまるものを１つ選んでお答えください。

単位：％

項目	全体	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
【雇用や労働時間の削減】							
１. 行う見通し	16.8	15.7	23.8	15.8	17.9	－	15.4
２. 行わない見通し	44.5	37.3	42.9	47.4	53.6	80.0	38.5
３. わからない	37.2	45.1	33.3	31.6	28.6	20.0	46.2
【最低賃金引き上げの対応】							
４. 経費（人件費以外）を引き下げる	20.4	21.6	4.8	31.6	25.0	20.0	15.4
５. 省力化投資（設備、ＩＴ等）を行う	5.8	5.9	14.3	－	3.6	20.0	－
６. 販売価格を引き上げる	21.2	23.5	23.8	10.5	17.9	20.0	30.8
７. 仕入価格を引き下げる	1.5	2.0	－	－	3.6	－	－
８. もともと従業員がいない	8.0	5.9	－	15.8	14.3	－	7.7
９. わからない	18.2	19.6	19.0	26.3	17.9	20.0	－
０. 特に対応は行わない	23.4	19.6	33.3	15.8	17.9	20.0	46.2

【問２】 企業における社会保険負担（適用範囲や納付額の上昇）の増加が今後も見込まれますが、この流れについて、経営面でどの程度不安を感じていますか。次の１から３の中から当てはまるものを１つお選びください。また、経営面への影響について考えられることを４から０の中から１つお選びください。

単位：％

項目	全体	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
【不安感】							
１. 不安を感じている	50.4	52.9	52.4	42.1	53.6	60.0	38.5
２. どちらでもない	42.3	39.2	38.1	57.9	42.9	40.0	38.5
３. 不安を感じていない	6.6	5.9	9.5	－	3.6	－	23.1
【経営面への影響】							
４. 社会保険料納付の時間や手間が増える	23.4	23.5	19.0	31.6	28.6	20.0	7.7
５. 従業員への説明に時間がかかる	0.7	2.0	－	－	－	－	－
６. 雇用が抑制される	4.4	3.9	－	10.5	3.6	－	7.7
７. 賃金引上げの妨げになる	32.8	33.3	42.9	10.5	32.1	60.0	38.5
８. もともと従業員がいない	5.1	5.9	－	10.5	7.1	－	－
９. わからない	15.3	13.7	23.8	26.3	10.7	－	7.7
０. 特に影響はない	17.5	15.7	14.3	10.5	17.9	20.0	38.5

【問３】わが国では、２０３０年以降も人口の減少や高齢化の進展が見込まれていますが、これらに対して貴社ではどのように対応していきたいと考えていますか。生産面については１から６の中から、販売面については、７から０の中から、当てはまるもの１つずつお選びください。

単位：％

項目	全体	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
【生産面】							
1. 定年延長など高齢者の活躍推進	18.2	19.6	23.8	5.3	17.9	40.0	15.4
2. 待遇改善を通じた現役世代の確保	13.1	15.7	14.3	5.3	14.3	20.0	7.7
3. 外国人採用の強化	3.6	2.0	4.8	10.5	3.6	－	－
4. 人材教育の強化	15.3	11.8	14.3	10.5	25.0	－	23.1
5. 省力化投資（IT、設備等）の増加	4.4	5.9	4.8	－	3.6	20.0	－
6. 現時点では考えていない	45.3	45.1	38.1	68.4	35.7	20.0	53.8
【販売面】							
7. 新しい商品・サービスの開発	13.9	15.7	19.0	10.5	14.3	20.0	－
8. 新しい市場への進出・強化	11.7	9.8	19.0	10.5	10.7	20.0	7.7
9. 現在の市場で今の商品の販売を強化	27.7	23.5	38.1	31.6	17.9	40.0	38.5
0. 現時点では考えていない	46.7	51.0	23.8	47.4	57.1	20.0	53.8

【問４】貴社における５年後の２０３０年を見据えた事業承継の状況について、２０３０年までに経営者の変更予定している人は変更先を１から５の中から、予定していない人は貴社の状況を６から０の中から、１つ選んでお答えください。

単位：％

項目	全体	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
【２０３０年までに経営者変更を予定】							
1. 親族に承継	11.8	13.7	9.5	5.3	11.1	40.0	7.7
2. 親族以外の役員、従業員に承継	5.1	3.9	14.3	－	7.4	－	－
3. 親族以外の社外人材に承継	3.7	7.8	4.8	－	－	－	－
4. 他社への事業譲渡（M&Aを含む）を予定	2.2	2.0	－	－	7.4	－	－
5. 承継先を選定中	4.4	5.9	9.5	－	3.7	－	－
【２０３０年までに経営者変更を予定せず】							
6. 経営者が若く検討不要	18.4	15.7	23.8	26.3	18.5	20.0	7.7
7. 検討の必要性は感じているが未着手	19.1	23.5	9.5	21.1	25.9	－	7.7
8. 2030年以降の承継を決定済み	7.4	5.9	14.3	5.3	－	20.0	15.4
9. 廃業を予定	0.7	－	－	－	3.7	－	－
0. 事業承継については全くの未定	27.2	21.6	14.3	42.1	22.2	20.0	61.5

【問5】貴社では、SDGs（2030年を目途とした持続可能な開発目標）にかかる以下の1から9の取組みを行っていますか。最も取り組んでいるものを最大3つまで選んでお答えください。取り組んでいない方は0とお答えください。

単位：％

項目	全体	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
1. (省エネ) 節電、再生可能エネルギーの使用	32.1	23.5	47.6	31.6	42.9	20.0	23.1
2. (省資源) 再生資源や未利用資源の利用等	12.4	11.8	14.3	10.5	10.7	20.0	15.4
3. (水資源) 水使用量削減、排水管理	4.4	2.0	4.8	5.3	10.7	－	－
4. (森林資源) ペーパーレス化、緑化・植林	21.2	17.6	19.0	－	35.7	20.0	38.5
5. (環境負荷) グリーン調達、有害物質削減等	2.9	3.9	－	5.3	3.6	－	－
6. (雇用) 女性や高齢者、外国人等の人材雇用	15.3	15.7	4.8	5.3	32.1	－	15.4
7. (労働環境) 研修の充実、働き方改革の実施	19.0	17.6	33.3	10.5	14.3	－	30.8
8. (貧困対策・健康福祉) フェアトレード等	0.7	－	4.8	－	－	－	－
9. (地域貢献) 防犯、防災、寄付、まちづくり	11.7	2.0	19.0	26.3	10.7	20.0	15.4
0. 上記の取組みはしていない	33.6	43.1	28.6	31.6	17.9	60.0	30.8

調査の概要

1、調査時期 令和7年6月中旬

2、調査方法 面接聴取調査

3、調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	68	52
卸売業	25	21
小売業	24	19
サービス業	36	28
建設業	13	5
不動産業	16	13
合計	182	138

4、未集計事業所数

	倒産・ 廃業	事業 転換	移 転	不在が 続く	調査 拒否	取引 解消	休 業	その他	合 計
	0	0	0	43	0	0	0	1	44
製造業				16					16
卸売業				3				1	4
小売業				5					5
サービス業				8					8
建設業				8					8
不動産業				3					3